

## 局長級人事異動 知事コメント

(令和4年6月17日)

- 1 今夏の局長級人事は、年々脅威を増す気候変動や道半ばの新型コロナウイルス感染症との闘い、激変する国際情勢を踏まえ、いかなる危機にも揺らぐことのない真に持続可能な都市を実現するため、実力本位の配置を行った。
- 2 首都の防災対策を担い、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした危機管理、区市町村支援等において、全庁の要となる総務局長には、所管事業に精通し、課題解決に積極的な野間政策企画局長を配置し、その後任は、高い実行力を有する中村福祉保健局長を配置する。福祉・保健医療政策を統括する福祉保健局長の後任には、コロナ禍での病院運営や独法化に尽力した西山病院経営本部長を配置する。
- 3 広報政策の司令塔として都庁全体をマネジメントし、都民をはじめ国内外の皆様に一層わかりやすく情報をお届けするため新設する戦略広報調整監には、全庁的な視野を有し、高い調整力のある山田財務局理事を政策企画局次長兼務で配置する。
- 4 2030年の「カーボンハーフ」の実現を確かなものとするため新設する環境局理事には、環境行政に豊富な知識・経験を有する宮澤政策企画局理事を配置する。なお、気候変動対策と産業政策、この二つの視点から、取組を強化するため、環境局地球環境エネルギー一部を改組し、気候変動対策部を設置するとともに、産業労働局に産業・エネルギー政策部を新設する。
- 5 その他、局長を支える技監・理事職等については、それぞれの局の課題を踏まえつつ、能力・実績を重視した配置を行った。
- 6 今回の新任発令は、7月1日付で実施する。